

論文審査の要旨

報告番号	㊦・乙 第 2865 号	氏 名	安川 茉弥
論文審査担当者	主査 佐々木 康綱 副査 木内 祐二 副査 長塚 正晃		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本論文では、米国の癌ゲノム臨床情報統合大規模データベースより高悪性度漿液性卵巣癌患者のプラチナ感受性に関わる遺伝子変異を検索した先行研究をもとに、<i>ADAMTS16</i> 遺伝子変異に着目して卵巣癌細胞における同遺伝子変異のプラチナ感受性への影響について 検討を行った。</p> <p><i>ADAMTS16</i> 遺伝子の 6 種類の変異型細胞株を作成し、プラチナ製剤投与下、非投与下で培養したところ 2 種類の変異株においてプラチナ製剤投与下で細胞増殖能の低下を観察したことから、<i>ADAMTS16</i> 遺伝子変異がプラチナ製剤感受性を高めることを証明した。</p> <p>遺伝子変異の導入がプラチナ感受性を高め、化学療法の有効性を高める可能性を示したことで、今後の新たな卵巣癌治療法の開発に道を開く研究であり、学術的に価値があり、学位論文に相当すると判断した。</p> <p>論文題名 : ADAMTS16 mutations sensitize ovarian cancer cells to platinum-based chemotherapy. (ADAMTS16 遺伝子変異は卵巣癌のプラチナ感受性を改善する)</p> <p>掲載雑誌名 : Oncotarget doi: 10.18632/oncotarget.11120 2016 年掲載</p>			

(主査が記載、500 字以内)